

令和5年度 事業報告

概要

本財団は、昭和44年（1969）の設立以来、事業目的である京都市域の文化観光資源の保護を図り、保護思想の普及に努め、京都市の文化観光の発展と文化的向上に取り組んできた。

令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、四大大行事をはじめとする多くの伝統行事・芸能が中止あるいは大幅な規模縮小に追い込まれたが、令和4年度は感染対策を万全に整えることで多くの行事が徐々に動き出し、令和5年度については天候に起因する中止以外はほぼコロナ以前の状態に戻っている。

令和5年度の伝統行事、芸能の執行公開事業について春からの行事をみると、3年連続での中止となった「葵祭」は、5月15日が雨天のため順延となったものの翌16日は好天に恵まれ、ようやく通常通り催行された。また本年は、上皇上皇后両陛下がはじめて葵祭をご覧になられた。

北区の「やすらい花」は4件全てが予定通り実施され、また5月には「賀茂競馬(くらべうま)」・「糺の森流鏑馬」・「藤森駟馬」なども通常通り実施されている。6月には鞍馬の「竹伐り会式」が執行され、夏場の行事では、「祇園祭」、「京都五山送り火」、洛北の広河原、雲ヶ畑、小塩等の「松上げ」関連行事が例年通り催行された。また秋には10月22日の「時代祭行列」及びその夜に行われる「鞍馬火祭」も完全な状態で実施されている。

文化観光資源保護事業の助成事業では、令和5年度も募集要項にもとづき事前相談、申請受付を行った。建造物、美術工芸品などの未指定文化財の修理事業もほぼ例年通りの申請を受理し修理事業が実施された。

当財団では、各保存会等から事業報告書の提出を受けて助成金を交付し、保護事業者の財政負担の軽減につとめた。

文化観光資源保護普及啓発事業では、令和3年度から新たな取り組みとして、若い世代や子供たちに文化財への関心を高め、また地域に伝わる歴史や文化に親しむことで文化財愛護思想を醸成することを目的として、文化庁予算を活用し、伝統文化親子教室や区役所と連携し地域に密着した子供向けの事業を行ってきたが、令和5年度も継続して取り組んだ。

また、広報活動としてポスター、リーフレットの作成及び財団ウェブサイト、SNSでの情報発信などに力を入れるとともに、財団のプロモーションビデオを新たに作成した。その他文化財講座や伝統芸能の公演など、ほぼ計画どおり事業を実施することができた。

会員事業では、京の三大祭観覧招待をはじめとして、文化財講演会や非公開文化財の特別公開への招待など会員へのサービス向上に努めた。

法人運営については、公益財団法人として情報公開や公益法人制度関係法並びに定款に則った適正な運営につとめた。また、募金活動では、上記の各事業を行って行く中で会員をはじめ幅広い層に支援、協力の呼びかけを行った。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業1）

1. 助成事業

（1）対象事業

令和5年度に実施された下記の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当する事業

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物、美術工芸品及び史跡、名勝、天然記念物の保全を行う各事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事、伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成、後継者の養成、衣装・用具、収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院、神社等の環境保全、文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修、収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業

（2）申請の応募，受付

ウェブサイト等で申請の応募を行い、事前相談（3月1日～31日）及び申請書の受付（4月30日提出期限）を行った。

（3）専門委員会の開催、助成対象の選定

○日時 令和5年11月22日

○出席者 尼崎博正委員、伊東史郎委員、小椋純一委員、奥平俊六委員
伊達仁美委員、矢ヶ崎善太郎委員 以上6名

○決議事項

第1号議案 専門委員会委員長及び副委員長の選任について

第2号議案 令和5年度文化観光資源保護事業助成対象の選定について

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業

2) 伝統行事、伝統芸能の保存及び執行事業

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備事業

(4) 助成金の交付決定、事業報告

専門委員会において、選定された49件について、11月29日付けで助成額を決定（理事長決定）し、各申請者に対し助成金確定通知を送付した。内訳は、以下のとおり。

また、申請者には保護事業報告書の提出（3月末期限）を求めた。

助成申請件数 49件（内3件中止） 助成額合計 5,751万円

（内 訳）

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業 4件 助成額 280万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
迎称寺（左京区）	本堂屋根修理	238	70	
龍安寺（右京区）	庫裏屋根修理	309	70	

（美術工芸品）

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
海福院（右京区）	襖絵修理	273	70	
雲龍院（東山区）	木造不動明王脇侍修理	383	70	

2) 伝統行事、伝統芸能保存及び執行事業 44件 助成額 5,217万円

○伝統行事・芸能保存事業2件 助成額 503万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
（公財）祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾修理事業	369	123	
京都五山送り火連合会	各山火床整備事業	1,551	380	

○伝統行事・芸能執行事業 42件 助成額 4,714万円

・伝統行事執行事業 19件 助成額 4,426万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	執行日等
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	2,958	675	5月16日
祇園祭協賛会	祇園祭山鉾巡行 //	9,950	2,050	7月
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火点火 //	2,340	650	8月16日

時代祭協賛会	時代祭行列 〃	2,170	623	10月22日
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明行事 〃	220	20	3月15日
賀茂競馬保存会	賀茂競馬 〃	1,207	25	5月5日
藤森神社駟馬保存会	藤森駟馬 〃	360	25	5月5日
糺の森流鏑馬神事保存会	糺の森流鏑馬 〃	780	25	5月3日
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬竹伐り会 〃	142	13	6月20日
花脊松上げ保存会	花脊松上げ 〃	120	13	中止 後継者養成
広河原松上げ保存会	広河原松上げ 〃	200	25	8月24日
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げ 〃	70	20	8月24日
小塩松上げ保存会	小塩上げ松 〃	13	5	8月26日
烏相撲保存会重陽社	烏相撲 〃	79	10	9月9日
西之京瑞饋神輿保存会	西之京瑞饋祭 〃	380	25	10月1～4日
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供 〃	18	6	10月1・2日
日野裸踊保存会	日野裸踊 〃	22	6	1月14日
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭 〃	919	200	10月22日
桂川舟渡し保存会	桂川舟渡御 〃	64	10	4月23日

・伝統芸能公開事業 23件 助成額 288万円 単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	330	20	1月・2月 他
壬生大念仏講	壬生狂言 〃	246	15	2月・10月 他
神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言 〃	155	15	11月3～5日
千本えんま堂大念仏狂言保存会	千本えんま堂狂言 〃	52	15	2月・5月
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言 〃	70	15	4月10月
久世六斎保存会	久世六斎 〃	54	15	8月
中堂寺六斎会	中堂寺六斎 〃	45	13	8月
梅津六斎保存会	梅津六斎 〃	65	8	8月
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎 〃	77	15	8月
千本六斎会	千本六斎 〃	45	15	8月
壬生六斎念仏講中	壬生六斎 〃	55	15	8月
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎 〃	24	8	8月
西院六斎念仏保存会	西院六斎 〃	4	0	中止
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎 〃	50	10	8月

上鳥羽橋上鉦講中	上鳥羽六斎 〃	30	10	8月
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花 〃	43	13	4月9日
今宮やすらい会	今宮やすらい花 〃	130	13	4月9日
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花 〃	87	13	4月9日
上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花 〃	50	13	5月15日
久多花笠踊保存会	久多花笠踊 〃	84	12	8月24日
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊 〃	150	20	10月9日
(公財)松ヶ崎立正会	松ヶ崎題目踊 〃	32	5	中止 衣装修理
番匠保存会	番匠儀式 〃	38	10	1月2日

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全事業 1件 助成額 254万円

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	助成額	備考
(公財)京都古文化保存協会(上京区)	文化財周辺松喰虫等駆除事業	763	254	

単位：万円

合計	49件	事業費	助成額	備考
		27,814	5,751	

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

(1) 当年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の現地調査及び資料収集、写真記録を行い、事務局において調査報告書を作成し専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況等の事業内容をデータ化して、記録保存し今後の保護、伝承のための資料として供することとした。

(2) 京都市域の伝統行事、伝統芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源について、資料収集や写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用することとした。

(3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめた。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大大行事の各協賛会等の会議に参画し、行事の円滑な実施に協力した。

ア 文化財防災対策連絡会(令和5年度事務局 京都市消防局予防部予防課)

開催日：第1回 6月15日 第2回 11月16日 第3回 3月8日

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化スポーツ部文化政策室、同危機管理部災害対策課、同警察本部生活安全部生活安全企画課、同警備第一課、京都市消防局予防部予防課、同都市計画局都市景観部景観政策課、同文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、公益財団法人京都文化財団、公益財団法人京都古文化保存協会、京都大阪森林管理事務所、当財団の12者で構成し、文化財の防災等に関する情報交換を行った。

イ 四大大行事（葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

例年、円滑な行事の執行に向けて、各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり協議を行った。

Ⅱ. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業2）

1. 文化観光資源公開事業の実施、刊行物の発行

京都の文化財や観光資源の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に実施している。当年度は、下記の普及啓発事業を実施した。また、事業を通じて参加者に対し、当財団の事業活動への協力と支援を呼びかけた。

（1）文化財講座「京都を彩る伝統行事・伝統工芸」

日 時 令和5年4月15日（土）

会 場 みやこめっせ 地下 大会議室

内 容 講演「御所人形 300年の技を今に伝える」

講 師 有職御人形司 十二世 伊東久重氏

参加者数 58名

（2）文化財講座 文化庁特別講演会

日 時 令和5年6月27日（火）

会 場 ウェスティン都ホテル京都 鳳凰の間

内 容 講演「文化財の保存と継承について—文化財保護とその担い手—」

講 師 文化庁文化財鑑査官 山下信一郎氏

参加者数 42名

（3）文化財講座 ユネスコ無形文化遺産「久多の花笠踊」

日 時 令和5年11月24日（金）

会 場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

内 容 第1部 講演「“風流”の象徴としての久多の花笠踊」

講師 佛教大学歴史学部教授 八木透氏

第2部 ビデオ上映「久多の花笠踊」（京都の歴史と文化映像ライブ）

ラリー)

第3部 対談 八木透氏・河原康博氏（久多花笠踊保存会会長）

参加者数 181名

(4) 嵯峨野六斎念仏特別公演イベント

日時 令和5年4月9日（日）

会場 嵐山昇龍苑（京都市右京区嵯峨）

内容 嵯峨野六斎念仏の公演に合わせて、保存会と連携し商業施設でブースを設け、文化財保護の呼びかけと募金活動を行った。

(5) 嵯峨大念仏狂言特別公演イベント

日時 令和5年11月11日（土）

会場 嵐山昇龍苑（京都市右京区嵯峨）

内容 嵯峨大念仏狂言の公演に合わせて、保存会と連携し商業施設でブースを設け、文化財保護の呼びかけと募金活動を行った。

(6) ユネスコ無形文化遺産「風流踊 京都のやすらい花」の講演と実演

日時 令和6年3月3日（日）

会場 京都市生涯学習総合センター（京都アスニー）

内容 第1部 講演と解説「風流踊 京都のやすらい花」

講師 芸能史研究家・元京都市文化財保護審議会委員 山路興造氏

第2部 記録映像「風流踊やすらい花」の上映

第3部 実演 上賀茂やすらい花 上賀茂やすらい踊保存会

参加者数 147名

2. 広報活動の積極的推進

(1) ウェブサイトによる発信事業

Webサイトを通じて、京都の文化観光資源や実施事業、活動紹介、「会報」寄稿文などの情報を発信し、内容の充実と更新の頻度を上げ、京都の文化観光資源の保護や活動への協力と支援を広く呼びかけた。

(2) SNSを活用した情報発信

Facebook、Instagram及びX（旧Twitter）によるSNSでの情報発信を続けたほか、noteでの情報発信を開始した。季節の伝統行事・伝統芸能の紹介や、文化財に関するイベントの紹介など、多くの人々が文化財に関心を持ち、興味を持っていたり、ただけのようなタイムリーな情報を発信し、適宜更新した。

(3) 財団広報活動の強化

本財団の認知度の向上を目指して、ポスターを作成し、京都市内の各社寺、博物館、美術館、京都市営地下鉄構内などに掲示した。また京都総合観光案内所「京なび」にリーフレット配架、京都新聞事業社主催京都検定講習会での資料配布などを行った。

財団事業実施の際は、各報道機関に対し広報発表を行うとともに、時宜に応じた取組に関わる取材を依頼するなど積極的な広報活動に努めた。

3. 伝統行事・芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた下記の12名の方々を功労者として、伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき京都市長、理事長名にて表彰した。表彰式は令和6年2月16日ウェスティン都ホテルにて、令和5年度第4回通常理事会終了後に行った。

〈令和5年度被表彰者（順不同・敬称略）〉

仲井 友治（花脊松上げ保存会） 廣庭 廣一（広河原松上げ保存会）

矢野 隆弘（神泉苑大念佛狂言講社）

梅原 友治（千本ゑんま堂大念佛狂言保存会）

橘 隆仁（嵯峨大念佛狂言保存会） 北村 佳史（嵯峨野六斎念仏保存会）

堀田 一夫（西方寺六斎念佛保存会） 中村 博一（川上やすらい踊保存会）

岡田 茂之（久多花笠踊保存会） 中山 雅章（北白川伝統文化保存会）

服部 民三郎（粟田神社剣鉾奉賛会） 津田 正之（吉田剣鉾保存会）

4. 文化観光資源に関する事業の関係機関との連携、後援事業

財団活動を広く周知するために、京都市や他団体と連携した普及啓発に関する事業を展開した。昨年度から京都商工会議所と連携し、京都・観光文化検定試験の受験者に対する働きかけを行っている。

また、(1)～(5)のとおり文化観光資源の所有者、管理者及び保存団体等からの依頼を受け文化観光資源保護を目的とした各種事業を後援し支援した。

(1) 令和5年度ふるさと文化財の森 「森が支える日本の技術2023公開セミナー」の後援

11月5日～12月8日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
文化財保護に関わる専門技術の普及を目的に、実演、展示及び体験等が行われた。

(2) 「企画展 京都の祭り行事（パネル展示）」の後援

11月1日～16日（ゼスト御池）・12月1日～1月18日（京都学・歴彩

- 館) 主催：京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会
- (3) 第58回「京の冬の旅」の後援
1月1日～3月20日 主催：公益社団法人京都市観光協会
京都の冬季観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。
- (4) 年中行事「鉦始め・木遣音頭」の後援
1月2日 主催：番匠保存会
建築儀式「鉦始め」を行い「木遣音頭」を披露する儀式が行われた。
- (5) 第21回「子供六斎教室成果発表会」の後援
1月14日、1月21日 主催：京都こども六斎教室連絡会
「京都の六斎念仏」を伝承正しく練習する「こども六斎教室」が成果を発表し、それを見て学びあうことを目的とした発表交流会が行われた。

5. 文化庁委託事業の実施

(1) 伝統文化親子教室「京の伝統文化を体験しよう！-京の文化財体験教室-」

文化庁の委託事業「伝統文化親子教室事業」を受託し、次世代を担う子供たちに京都の伝統文化を体験・習得できる機会を設けた。

- 第1回目 7月22日(土) オリエンテーション・「祇園祭を体験しよう」
於) 下京中学校成徳学舎 協力) 公益財団法人祇園祭山鉦連合会、放下鉦保存会、南観音山保存会
親子31組参加
- 第2回目 7月29日(土) 「六斎念仏」をやってみよう
於) 京都市立光徳小学校 協力) 京都中堂寺六斎会
親子19組参加
- 第3回目 9月9日(土) 「大念仏狂言」をやってみよう
於) 千本ゑんま堂 協力) 千本ゑんま堂大念佛狂言保存会
親子11組参加

(2) 子ども歴史文化探検・体験事業(区役所連携事業)

文化庁の委託事業「子供たちのための伝統文化の体験事業」を受託し、子どもたちが住む地元の文化財に直接触れる体験や地元の民俗芸能・伝統文化を体験してもらうことで、文化財等に対する愛護思想の普及啓発を行った。

- 南区歴史文化探検・体験事業 10月7日(土) 於) 京都市立開建高等学校
協力) 上鳥羽橋上鉦講中、吉祥院六斎保存会、久世六斎保存会、京都市立開建高等学校
親子33組参加

- 西京区洛西支所歴史文化探検・体験事業 11月19日（日）
於）石見城跡、芝古墳 協力）公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所
親子27組参加
- 北区歴史文化探検・体験事業 12月9日（土）
於）船岡山公園、今宮神社 協力）日本の文化に親しむ会、茶道速水流、株式会社龍村光峯、中山福太朗、立命館大学体育会居合道同好会
親子18組参加

Ⅲ. 会員事業

1. 「会報」の発行

「会報」は、第137、138、139号の3号を各1,500部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者からの寄稿や事業活動などを詳しく掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、伝統行事・伝統芸能保存団体に送付した。

No.（発行月）	主な目次
No.137（5.8.1付）	寄稿「文化財保存技術の継承と今日の古文書修理」文化庁文化財第一課地方展開企画調整官 地主智彦、保護財団の活動
No.138（5.12.1付）	講演録「文化財の保存と継承について－文化財の保護と担い手－」文化庁文化財鑑査官 山下信一郎、保護財団の活動
No.139（6.3.1付）	特集「幕末維新の荒廃の危機に立ち向かった京都の人びと－祇園祭山鉦の復興から－」京都文化博物館主任学芸員 橋本章、保護財団の活動

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業への招待

会員規程に定める会員を対象とした以下の会員事業を計画し、文化観光資源保護普及啓発事業に招待等を行った。

(1) 京の三大祭観覧招待

葵祭	（5月16日）	京都御苑建礼門前	観覧者数	233名
祇園祭前祭	（7月17日）	京都市役所前	観覧者数	186名
時代祭	（10月22日）	京都御苑建礼門前	観覧者数	239名

(2) 祇園祭・京都五山送り火記念「扇子」を希望者に進呈

*寄附者への御礼の品として送付。

(3) 「重要文化財旧三井家下鴨別邸」招待事業

実施期間	5月1日（月）～30日（火）	観覧者数	43名
------	----------------	------	-----

- (4) 「保存修理完了 開館20周年 並河靖之七宝記念館」招待事業
 実施期間 10月1日(日)～11月26日(月) 参加者数 76名
- (5) 京都古文化保存協会主催
 「令和5年度第59回京都非公開文化財特別公開」招待
 実施期間 10月28日(土)～11月26日(日) 申込者数 147名
- (6) 「吉田木瓜大明神の剣鉾差し行事観覧と講演」招待
 実施日 11月12日(日) 参加者数 38名
- (7) 京都市観光協会主催
 「第58回京の冬の旅 非公開文化財特別公開～秘められた京の美をたずねて～」招待
 実施期間 1月6日(土)～2月29日(木) 申込者数 152名
- (8) 「西本願寺」文化財特別鑑賞
 実施日 3月14日(木) 参加者数55名

3. 寄附の取組み及び会員登録状況

(1) 寄附者の顕彰

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈要綱に基づき、法人2団体及び個人1名の高額寄附者に対して理事長名にて感謝状を贈呈した。贈呈式は令和6年2月16日ウエスティン都ホテルにて、令和5年度第4回通常理事会終了後に行った。

文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者(敬称略)

(法人の部) 伸和建设株式会社(京都市右京区)

東レエンジニアリング株式会社(滋賀県大津市)

(個人の部) 伊勢 初枝

(2) 会員登録状況(令和6年3月31日現在)

会員区分	法人	個人	計
特別会員	161	178	339
普通会員	21	184	205
賛助会員	9	63	72
計	191	425	616

注) 会員規程による会員区分に基づいている。

会員数の推移

	R元	R2	R3	R4	R5
会員数	673	640	593	622	616
新規会員数 (内数)	37	16	45	96	88

IV. 法人運営

1. 募金活動

(1) 募金状況

事業活動の基盤強化と市民募金運動の推進として、実施事業を通じて個人寄附の呼びかけを行うとともに、会員に対し追加寄附の協力を呼びかけた。

寄附状況 8,755,000円 (R4年度 8,472,000円)

京都市文化観光資源保護基金令和5年度末残高

2,080,131,756円

(2) 寄附獲得の取組み

- ・令和3年度から金融機関と「遺贈・寄附等への協力に関する協定」を締結（三井住友信託銀行、京都銀行、三菱UFJ信託銀行）し連携に努めている。
- ・財団のファン・新規会員の拡充につとめるため、活動案内パンフレット「ご寄附のお願い」を作成し、事業実施時等に配布する他、京都総合観光案内所「京なび」での配架や、京都新聞事業社主催の京都検定講習会会場での配布などを行った。さらに観光施設（嵐山昇龍苑）や民俗芸能公演で財団ブースを設置して募金活動を行うとともに、幅広い層に対し財団のPRを行った。
- ・会員向けに従来の寄附のお願いに加え、10月に「お友達紹介キャンペーン」12月に「寄附月間キャンペーン」を行った。

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回通常理事会（6月3日開催）

- 議案
- (1) 顧問の選任について
 - (2) 任期満了に伴う役員の改選について
 - (3) 令和4年度常勤理事の役員報酬の承認について
 - (4) 評議員会の招集について
 - (5) 令和4年度事業報告の承認について
 - (6) 令和4年度計算書類の承認について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 理事11名、監事2名

第2回みなし理事会（6月27日付開催）

議案 (1) 理事長（代表理事）選任の件

(2) 副理事長、専務理事（業務執行理事）、常務理事選任の件

出席等 提案書に対し、理事13名全員の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第3回みなし理事会（9月4日付開催）

議案 定款第17条第2項に基づく評議員会への決議の省略による提案

(1) 理事選任の件について

(2) 任期満了に伴う専門委員選任の件

出席等 提案書に対し、理事12名(退任者1名を除く。)の書面による同意の意思表示、監事3名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第4回通常理事会（2月16日付開催）

議案 (1) 令和6年度事業計画及び収支予算（案）、並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認について

(2) 特定費用準備資金の積立てについて

(3) 事務局職員に係る規程等の一部改正について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 理事10名、監事2名

(2) 評議員会

第1回定時評議員会（6月27日開催）

議案 (1) 任期満了に伴う役員の改選について

(2) 令和5年度常勤理事の役員報酬について

(3) 令和4年度事業報告の承認について

(4) 令和4年度計算書類の承認について

報告事項 職務執行状況の報告について

出席等 評議員18名、監事1名

第2回みなし評議員会（9月25日付開催）

議案 定款第24条に基づく評議員会への決議の省略による提案
理事選任の件について

出席等 提案書に対し、評議員25名全員の書面による同意の意思表示があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

(3) 監事会 5月18日

議案 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの業務及び会計一件

出席 監事2名及び専務理事、事務局職員3名

監査意見 (1) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

(2) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認める。

(3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

3. 役員の変動

(1) 第1回通常理事会による承認(6月2日付)

就任 顧問 西村 義直 京都市会議長

退任 顧問 田中 明秀 前京都市会議長

(2) 第1回定時評議員会による承認(6月27日付)

任期満了に伴う役員の変任

就任 理事 和田林道宜(重任)

理事 大西 祐資(重任)

理事 松本和加子(重任)

理事 砂川 敬(新任)

理事 吉田良比呂(重任)

理事 奥井拓史(新任)

理事 田中安比呂(重任)

理事 久保田 穰(重任)

理事 岩崎 貢(重任)

理事 加藤好文(重任)

理事 柳瀬忠文(重任)

理事 土井伸宏(重任)

理事 室 博(重任)

退任 理事 山中 博昭(退任)

理事 金谷 宗子(退任)

理事 川嶋 優子 (退任)

(任期 令和5年6月27日～令和7年6月26日 2年間)

就任 監事 池坊専永 (重任)

監事 金谷宗子 (新任)

退任 監事 小澤淳二 (退任)

(任期 令和5年6月27日～令和9年6月26日 4年間)

就任 評議員 石原秀樹 (重任)

評議員 伊東久重 (重任)

評議員 小野善三 (重任)

評議員 奥村浩二 (重任)

評議員 小澤達也 (新任)

評議員 八田英二 (重任)

評議員 仲谷善雄 (重任)

評議員 鷺尾隆久 (重任)

評議員 舟橋雅美 (重任)

評議員 野村明義 (重任)

評議員 安永雄彦 (重任)

評議員 貴田善澄 (重任)

評議員 松山侑弘 (重任)

評議員 佐分宗順 (新任)

評議員 岸 舜栄 (重任)

評議員 森 孝忍 (重任)

評議員 大林剛郎 (重任)

評議員 前川重信 (重任)

評議員 笹尾耕一郎 (重任)

評議員 柳 義彦 (重任)

評議員 榊田隆之 (重任)

評議員 白波瀬 誠 (重任)

評議員 細尾真生 (重任)

評議員 松井道宣 (重任)

評議員 西脇悦子 (重任)

(退任) 評議員 有馬頼底 (退任)

評議員 奥井拓史 (退任)

(令和5年6月27日～令和9年6月26日 4年間)

(3) 第2回みなし理事会による承認 (6月27日付)

就任 代表理事・理事長 和田林道宜
 業務執行理事・専務理事 松本和加子
 副理事長 大西祐資
 常務理事 砂川 敬

(4) 第2回みなし評議員会による承認 (9月25日付)

就任 理事 杉谷義純
 辞任 理事 田中安比呂

(5) 会長の交代

就任 会長 松井孝治 (2月25日付)
 退任 会長 門川大作 (2月24日付)

4 専門委員及び同委員長、副委員長の選任

(1) 任期満了に伴う専門委員の選任 (9月4日付)

氏名	職名	専門	備考
尼崎 博正	京都芸術大学名誉教授	庭園史	再任
小椋 純一	京都精華大学名誉教授	植生学	再任
伊東 史朗	京都国立博物館名誉館員	美術史	再任
矢ヶ崎善太郎	大阪電気通信大学教授	建築史	新任
奥平 俊六	大阪大学名誉教授	美術史	再任
伊達 仁美	京都芸術大学名誉教授	民俗学	再任

(2) 専門委員長及び副委員長の選任 (専門委員会による決議 11月22日付)

委員長 尼崎 博正委員

副委員長 伊達 仁美委員

(任期 令和5年10月1日～令和7年9月30日 2年)

5 登記事項

理事並びに評議員の変更登記

理事・代表理事 和田林道宜 7月18日 (重任登記)

理事 大西祐資、松本和加子、吉田良比呂、田中安比呂、
 久保田 穰、岩崎 貢、加藤好文、柳瀬忠文、
 土井伸宏、室 博、

7月18日 (重任登記)

砂川 敬、奥井拓史 7月18日 (就任登記)

山中 博昭、金谷 宗子、川嶋優子

7月18日 (退任登記)

監事 池坊 専永 7月18日 (重任登記)

	金谷 宗子	7月18日（就任登記）
	小澤 淳二	7月18日（退任登記）
評議員	石原秀樹、伊東久重、小野善三、奥村浩二、 八田英二、仲谷善雄、鷺尾隆久、舟橋雅美 野村明義、安永雄彦、貴田善澄、松山侑弘、 岸 舜栄、森 孝忍、大林剛郎、前川重信 笹尾耕一郎、柳 義彦、榊田隆之、白波瀬 誠 細尾真生、松井道宣、西脇悦子	7月18日（重任登記）
	小澤達也、佐分宗順	7月18日（就任登記）
	奥井拓史、有馬頼底	7月18日（退任登記）

6. 行政庁への届出・提出事項

令和4年度事業報告書等に係る提出	6月 28日付	提出
理事・監事・評議員変更の届出	8月 29日付	〃
評議員変更の届出	11月 1日付	〃
年度開始に伴う事業計画書の提出について	3月 21日付	〃
令和6年度事業計画書等に係る提出書	3月 21日付	〃